

令和5年9月22日

< Press Release >

宮崎産経大・南九州大・宮崎大が学部・大学院を改組し、情報系人材の育成を強化 ～ 3大学合同による記者会見を実施します ～

この度、宮崎産業経営大学・南九州大学が学部を改組し、大学の情報系強化を図ることとしました。また、宮崎大学は、大学院工学研究科を改編し、高度情報専門人材育成のための新コースを設置することとしましたのでお知らせします。

これらは、令和4年度第2次補正予算で造成された基金による文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」における公募の結果、採択され、同事業による支援を受けながら進めていくものであります。

宮崎大学は文部科学省事業である「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」が令和4年度に採択されたことを受けて、同じく採択された宮崎産業経営大学と南九州大学と合同記者会見を実施するなど、県内高等教育機関で連携して本県のトランスインフォメーション(DX)を牽引できるような情報系人材の育成に県内大学と連携しながら取り組んでまいりましたが、今後さらにこの動きを強めいくこととなります。

つきましては、下記のとおり、マスメディアの皆様を対象にした記者会見を実施させていただくこととしましたので、取材について検討していただきますようお願い申し上げます。

記

○日時：令和5年9月28日(木)10:00 - 11:00

○場所：宮崎大学附属図書館3階ひだまり(木花キャンパス内)

○その他：予定している内容は以下のとおりとなります。

10:00-10:05 宮崎大学長挨拶

10:05-10:15 宮崎産業経営大学事業説明・質疑応答

10:15-10:25 南九州大学事業説明・質疑応答

10:25-10:40 宮崎大学事業説明・質疑応答

10:40-11:00 宮崎大学工学部長挨拶、閉会、質疑応答

【発信元】 宮崎大学 総務広報課 広報係(後田) TEL:0985-58-7114 E-mail : kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp	【宮崎大学関連の問合せ】 工学部教授(田村 宏樹) TEL:0985-58-7409 E-mail : htamura@cc.miyazaki-u.ac.jp
【南九州大学関連の問合せ】 副学長・健康栄養学部教授(吉本 博明) TEL:0985-83-2111 E-mail : h-ysmt@nankyudai.ac.jp	【宮崎産業経営大学関連の問合せ】 経営学部教授・附属図書館館長(日高 光宣) TEL:0985-52-3111 E-mail : miyomiyo0517@me.com

- 今回の記者会見のポイント -

■ 宮崎産業経営大学 経営情報学科 【資料2】

- ① 事業名称：学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)
- ② 事業期間：原則8年
「地産地消から世界へ知翔」経営学と情報工学の文理融合で、マーケティング分析から統計学などデータ駆動型のDX教育を行います。

■ 南九州大学 健康栄養学部 地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科 【資料3】

- ① 事業名称：学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)
- ② 事業期間：原則8年
食品、健康医療などの複数分野にまたがる汎用的DX人材育成を目指します。

■ 宮崎大学大学院工学研究科修士課程 先端情報コース新設(令和6年度開始) 【資料4】

- ① 事業名称：大学・高専機能強化支援事業 高度情報専門人材尾確保に向けた機能強化(支援2)
- ② 事業期間：最長10年(令和5年~令和14年)
工学研究科を改編し、定員を134名から144名に。高度情報専門人材42名増。新設する先端情報コースでは、AIやビッグデータ、IoT等、第4次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手などの社会的ニーズに基づき、付加価値の創出や革新的な効率化等により生産性向上等に寄与できる先端IT人材を養成します。

■ 宮崎大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)認定 【資料5】

- ① 事業名称：宮崎大学 データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎)
- ② 認定期間：令和4年度~令和10年度
データを活用できる数理的思考力、データを実践的に扱える能力を身に付けた地域産業人材の育成を目標とした、データサイエンス・AI教育プログラムを提供します。

〈基本情報〉

改組予定年度：令和8年度

改組内容：既存学部における学科の新設

設置等組織名：経営学部経営情報学科（仮称）

入学定員：【R8新設】40名

所在地：宮崎県宮崎市古城町丸尾100

【コンセプト】地産・地消、世界に知翔

本学の持つ経営学教育（マーケティング・統計・ゲーム理論・行動経済学）とDX・AIなどの情報教育による文理融合強化により地域産業をけん引して世界で通用するグローバルデジタル人材育成事業

データ駆動科学による経営専門の総合診断士の育成

経営学部経営学科の4コース（総合経営、実践経済、スポーツマネジメント、データサイエンス）から、より高度なデジタル技術を学ぶ経営情報学科を新設し、製品・サービス、ビジネスモデルだけでなく、企業の業務、組織、文化の変革におけるデータドリブン経営の中核的役割を担う人材、いわば理論と実践のデジタル二刀流の人材育成を目指す。

地域社会の強い要請に支えられて

小中高生のSTEAM教育の推進拠点として、地域経済のDX化の牽引役としての機能強化が要請されている。また今後は県内外のステークホルダとの関係強化のためにもデジタル分野の研究開発も推進していく。

地域産業界のネットワークハブ

本学の名前の由来は、宮崎県内の「産業」との濃密なネットワークの構築を通じて、企業「経営」の課題解決と地域経済の発展に寄与することを使命とする。故に、今後は、自治体だけでなく、観光、銀行、小売業、製造業、エンタメ業との連携強化に努めたい。

先端的文理合型リベラルアーツ教育体制

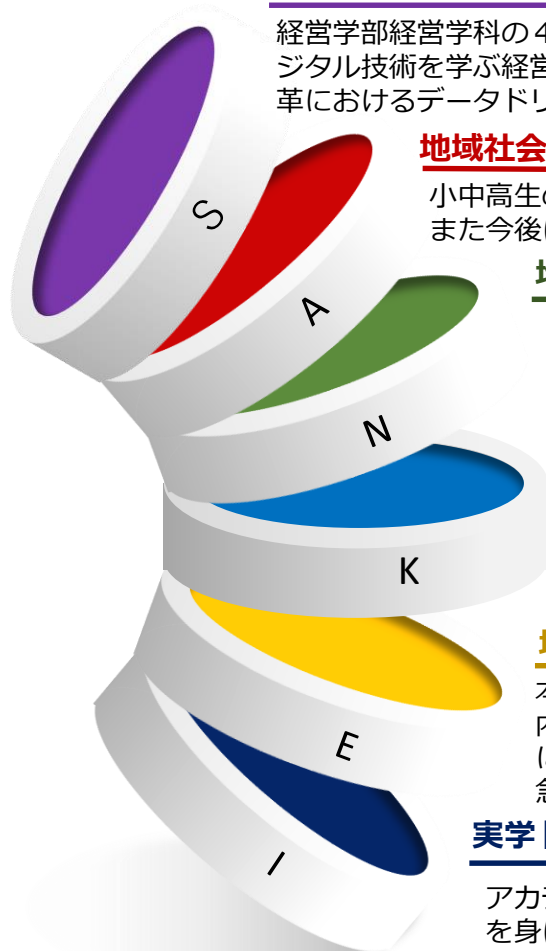
大学1年生から少人数クラス（1クラス5名程度）編成として学生一人一人の新奇性を引き出し、強靱な精神力と論理的思考力、チームワーク力を育成するリベラルアーツ教育体制。さらに学生の即戦力向上のために、AR、VR、メタバースの体験・実験・実習が行えるデジタルソリューションセンター（仮称）の改修工事を行う。

地産・地消、世界に知翔。

本学の入学者の約70%が宮崎県出身者、卒業生の約80%が宮崎県内就職者。すなわち、本学は県内唯一の地域ニーズに密着した「地産・地消」型大学である。今後は、県内だけでなく県外さらにはアジア経済圏から注目される世界標準のデジタル二刀流で武装した大学へと飛翔することが急務だと考えている。

実学トライアングルメソッド

アカデミア教員、実務家教員、連携企業の3者が一体となって協働し、学生の実践的ビジネスセンスを身につける。なおアカデミア教員の採用については他大学とのクロスアポイント契約により確保を行い、実務家教員については大学に留まらず広く産業界から募集・スカウトし客員教授、特任教授、非常勤講師として講義・実験・実習を行う計画とする。





令和5年度選定 支援1 南九州大学

<基本情報>

改組予定年度：令和9年度
 改組内容：既存学部における学科の新設
 設置等組織名：健康栄養学部 地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）
 入学定員：【R9新設】50名
 所在地：宮崎県宮崎市

フルーツフルみやざきDX人材：FMDX人材
 フルーツの実り豊かな宮崎県は、サンサンと太陽が降り注ぐ日向（ひなた）の国。そんなカラフル（Colorful）で、実り多い（Fruitful）な多彩な才能（Talents）をもったDX人材を育成します。

コンセプト：フルーツフルみやざきDX人材の育成 Fruitful Miyazaki DX Talents

食と医療（新たな健康情報学）、最先端メディアと食（SDGs）などダブルメジャーを志向しAI・情報工学を取り入れた履修プログラムを構築し、オンデマンド講義と実務家教員による実践的な演習授業を組み合わせ、更にメタバースキャンパスも構想することにより、文理を超え地域・産業に貢献する汎用的IT人材を育成。

宮崎県のDXに関する地域ニーズ （申請要件③、⑦）

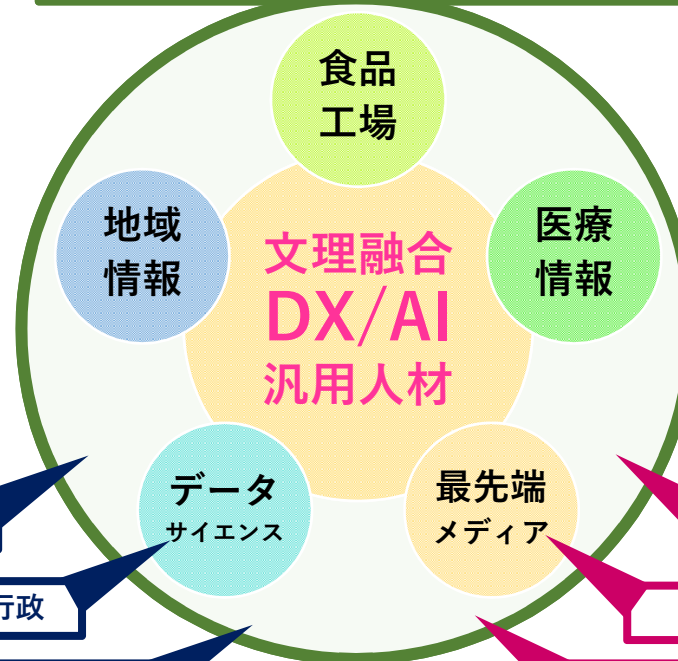
- 宮崎県は「みやざきフードビジネス振興構想」（R5年改訂）を策定、持続可能なフードビジネスの発展を目指している。
- 宮崎県の農業産出額は全国4位、一方、食料品製造業出荷額は全国27位で、製造業の高付加価値化が課題である（新たな6次産業の創出）。
- 「（AI、IOTなど）使いこなせる人材がいらない」と回答した事業者は、生産・製造業で32.4%、流通・飲食サービス業で50.9%というIT人材不足。

県内中高（入学者）

地元経済団体（ステークホルダー）・行政

食品産業界（就職先・新たなポジショニング）

リアル&メタバースキャンパス



PRポイント：オール宮崎 （申請要件②、④、⑤、⑪、⑫）

- 高等教育コンソーシアム宮崎は、社団法人化など連携を強化。
- 宮崎大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学、南九州大学は、SPARC事業（R4）で共同プログラムを展開。
- 健康栄養学部は、DX専門人材育成事業（R3）で、食品分野におけるDX人材育成でユニークな教育を展開。
- ステークホルダーである地域の産業界、食品業界と地域行政との関係（リカレント教育・共同研究開発）を強化し外部資金を確保。
- 中堅文系人材の地元大学進路を確保。

SPARC参加大学（共通科目）

連携推進法人（大学運営の連携）

高等教育コンソーシアム宮崎（教員派遣）



<基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員
 情報系組織名：<修士>工学研究科工学専攻先端情報コース
 情報系組織の入学定員：<修士>【R6増員】改組前18名 → 改組後60名
 所在地：宮崎県宮崎市

宮崎県デジタル人財育成
 コンソーシアム

- ・デジタル人財育成
- ・地元定着→地元DX推進
- ・教育支援



宮崎大学大学院工学研究科改編 (R6年度) による強化の特徴

産学官金
 連携

【資料4】

【学生確保の見通し】 高い進学率を維持

志願倍率：138% (平成30年度～令和5年度)
 入学者平均：146.3名 (入学定員134名)
 ※情報・デジタル分野への進学は入学定員の53%

入口

工学専攻の入学定員10名増
 (定員134名→144名)

※定員10名増分は、学内定員を振り替えずに純増

情報・DXを高度化した「先端情報コース」の新設(目安定員60名)

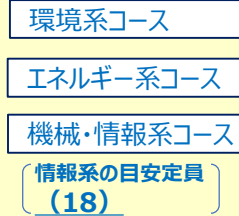
教育方針

専門分野の高度化と異分野融合による多様なカリキュラムを維持しつつ、豊かで質の高い暮らしと持続可能な社会を実現するため社会実装を視野に入れた、情報通信分野及び融合情報分野の高度専門技術者の育成

成果

多くの高度情報・デジタル専門人材を輩出
 ●先端IT人材不足問題解決 ●社会が求めているDX推進

<現在>



<令和6年度>



※ () は現状の目安定員の想定規模

・今後、学部のDS・DX強化、融合教育強化により、情報・DX分野への興味を持つ学部生がますます増えると予想

高度情報・専門人材：42名増

社会実装を視野に
 情報・DX高度化

「先端情報コース」教育内容の特徴：カリキュラム，教育研究環境整備，実務家教員の配置

- 先端情報コースに、履修モデル「情報通信」モデルと「融合情報」モデルを設置
- 「融合情報」モデルの科目群は、企業または他大学との連携による講義内容を加える
- 従来の29名の教員に加え、新たに実務家教員を含む教授・准教授3名と助教6名で教育

実務家教員による社会実装を視野に入れた教育

- コース必修科目「社会ニーズに応じた先端情報特論(仮)」を設置
- 企業等との連携による実践的教育
- 「インターンシップ」の高度化

研究教育環境

- 異分野領域対応AI開発設備、創造力養成設備

<必修> (16単位)

コース必修科目 (2単位)
 「社会ニーズに応じた
 先端情報特論(仮)」
 (実務家教員による)

専攻共通科目 (14単位)

<選択> (14単位以上)

情報通信モデル
 融合情報モデル

最低4単位
 以上

他の履修モデルの科目
 専攻共通科目 (インターンシップ含む)

出口

【人材ニーズと計画】

「令和4年度宮崎県内IT企業アンケート」
 宮崎大学から毎年37～41名の
 情報・IT分野人材必要

過去3年間平均18.3名
 IT人材輩出不足

先端IT人材を輩出し
 IT人材不足を改善

新しい社会のための 宮崎大学 データサイエンス・AI教育プログラム

【資料5】

地域活性化のためには **デジタル社会で活躍できる人財が必要** です。
そのため、宮崎大学では、文理を問わず、あらゆる分野で必要とされる「数理・データサイエンス・AI」の教育に力を入れています。

宮崎大学

宮崎大学 データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシー)

R4
認定

入学者全員
必修

●情報処理、人工知能などの知識とそれらを適切に理解し活用する基礎的なリテラシーレベルの能力を身につける教育プログラム。文理を問わず、あらゆる分野で必要とされる能力。

※教材コンテンツの一部を南九州大学へ提供

全学生
デジタルノーマル

MDASH Literacy

Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education, designated by the Gov of Japan

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル プラス

文部科学省認定
(有効期限令和9年3月31日)

宮崎大学 データサイエンス・AI 教育プログラム (応用基礎)

R5
認定

希望者
(工学部以外)

●教養教育科目にデータサイエンス系科目を開設し、学部・学科に関係なく希望する学生は受講可能

STEAM教育による
新しい社会を生きる
基礎能力

MDASH Advanced Literacy

Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education, designated by the Gov of Japan

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
応用基礎レベル

文部科学省認定
(有効期限令和10年3月31日)

工学部
全学生

●工学部全学生を対象とした必修科目3科目を開講し、理解を高めるために"回帰分析の演習"や"pythonによるプログラミング"など、演習系を取り入れて実施

R4
認定

●宮崎大学は、「数理・データサイエンス・AI」教育強化に努めていることより、文部科学省から **リテラシープラスに選定** されています。
現在 (2023年9月)、全国で25大学のみ

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)や、課題を解決するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力及び実践的な能力の向上を図る機会の拡大に資することを目的としています。令和3年度より認定制度が始まっています。